## 健への教育

# 短大生活ナビ

愛知みずほ短期大学

令和6年度版



Aichi Mizuho Junior College

学籍番号

氏名

## 1年生 2024 (令和6) 年度生 生活学科 生活文化専攻 養護教諭コース 教育課程

#### 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに学校教育を理解し、養護教諭の果たす役割を追究する姿勢の育成
- (2) 子どもの心身の健康・安全意識を育てる能力の育成
- (3) 子どもや子ども集団の健康問題に対処できる実践力の習得

#### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上(必修科目●印10単位、選択科目8単位以上)と専門教育科目から44単位以上(必修科目●印12単位を含む。)の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3 養護教諭二種免許状

養護教諭二種免許状を取得しようとする者は、養護教諭二種免許状取得のために 必要な単位(ヨ印)を修得しなければならない。

#### 4 教育課程

4	授 業 科 目		1	年	2	年	- <del></del>	<b>≠</b> =# +/L=∆	
	授 業 科 目	単位数					卒業 要件	養護教諭	備考
		(時間数)	前期	後期	前期	後期	安件	免許要件	
	○技法知科目群								
	みずほ教養演習	2(30)	0				•		
	みずほゼミー	1(30)	0				•		
	みずほゼミ	1(30)		0			•		
	みずほゼミ	1(30)			0		•		
	みずほゼミIV	1(30)				0	•		
	情報リテラシー	2(30)	0				•	3	
	○学問知科目群								
	暮らしのなかの心理学	2(30)			0				
	身近な科学	2(30)	0						
	○身体文化科目群								
共	健康・スポーツ科学	1(15)				О		3	
通	スポーツ	1(30)				0		3	
科	〇社会的教育科目群								
目	日本語表現	2(30)	0						
	身近な統計学	2(30)	0				•		
	クリエイティブデザイン	2(30)		0					
	英語コミュニケーション	2(30)				0		3	
	暮らしのなかの憲法	2(30)				0		3	
	○連携開設科目群								
	データサイエンス	2(30)		0					
	笑いと健康	2(30)		0					
	市民社会論	2(30)				0			
	ESD入門	2(30)	0						
	人間と社会	2(30)	0						
	現代社会のマネジメント	2(30)			0				

	175 AMA 601 E	単位数	1	年	2	年	All T (1)	養護教諭	/dbt.r
	授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	- 卒業要件	免許要件	備考
	生活文化論	2(30)			0		•		
	人間関係論	2(30)				0	•		
	生活経営論	2(30)		0			•		
	食品衛生学	2(30)				0	•		
	栄養学(食品学を含む。)	2(30)			0			3	
	学校救急看護 I	2(60)	00					3	
	学校救急看護Ⅱ	2(30)				0		3	
	衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	2(30)	0				•	3	
	解剖・生理学	2(30)	0					3	
	精神保健	2(30)			0		•	3	
	看護概論	2(30)	0					3	
	看護技術の基礎	2(60)		00				3	
	小児保健	2(30)		0					
	臨床実習	2(90)		000				3	
	薬理概論	2(30)		0				3	
	養護概説	2(30)		0				3	
	健康相談活動の理論及び方法	2(60)		00				3	
	学校保健(学校安全を含む。)	2(60)	00	0.0				3	
	発達心理学	2(30)		0					
	養護実践演習(保健管理)	1(30)			0				
車	養護実践演習(保健教育)	1(30)			0				
門	養護実践演習(保健組織活動)	1(30)				0			
教	養護実践演習(保健室経営)	1(30)				0			
育	養護教諭基礎演習	1(30)	0						
科	養護教諭開発演習	1(30)		0					
目	文書デザイン	2(30)	0						
	情報社会論	2(30)		0					
	Webデザイン演習	2(30)			0				
	ファシリテーション	2(30)		0					
	情報活用演習(プレゼンテーション)	2(30)		0					
	情報活用演習(表計算)	2(30)			0				
	情報活用演習(データ整理・解析)	2(30)				0			
	保育学	2(30)				0			
	食育概論	2(30)			0				
	元気な子どもを育てる食事					-			
	(食物アレルギーを含む。)	1(15)				D			
	基礎造形	2(30)			0				
	女性学	2(30)		0					
	社会福祉論	2(30)				0			
	比較食物学	2(30)				0			
	フードコーディネート論	2(30)			0				
	調理実習 I	1(45)			DO				
	調理実習Ⅱ	1(45)				DO			
	食文化論	2(30)			0				
	食生活論	2(30)			0				
	社会実践	1(30)		0					

専門教育科目…卒業要件44単位以上

#### □教職専門科目(卒業単位に算入しない。)

	授 業 科 目	単位数	1	年	2	年	養護教諭	備考
	坟 耒 竹 日	(時間数)	前期	後期	前期	後期	免許要件	川で
	教育原理	1(15)	D				3	
	教師論	2(30)	0				ш	
	教育行政	1(15)		О			ш	
	教育心理学	2(30)	0				ш	
教	特別支援教育概論	1(15)	О				3	
職	教育課程論	1(15)		О			3	
専	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	0				ш	
門	教育方法	1(15)			О		ш	
科目	生徒指導の理論と実践	1(15)	О				3	
	教育相談の理論と実践	1(15)		О			3	
	教職実践演習 (養護教諭)	2(30)				0	3	
		1/150)		(18H)		(12H)		
	養護実習(事前・事後指導を含む。)	4(150)		(2011)	(120H)	(2217)	∃	

## 1年生 2024(令和6)年度生

## 生活学科 生活文化専攻 オフィス総合コース 教育課程

#### 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに職業人として求められる幅広い教養と豊かな人間性の育成
- (2) 多様化するビジネス社会で幅広く活躍できる実務力の習得
- (3) 資格取得に積極的にチャレンジする意欲・活力の育成

#### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上(必修科目●印10単位、選択科目8単位以上)と 専門教育科目から44単位以上(必修科目●印12単位を含む。)の合計62単位以上を 修得することが必要

かつ、fGPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3 教育課程

	477 AWA 7'V [7]	単位数	1	年	2	年	卒業	/# +/
	授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	備考
	○技法知科目群							
	みずほ教養演習	2(30)	0				•	
	みずほゼミ	1(30)	0				•	
	みずほゼミ	1(30)		0			•	
	みずほゼミⅢ	1(30)			0		•	
	みずほゼミIV	1(30)				0	•	
	情報リテラシー	2(30)	0				•	
	○学問知科目群							
共通	暮らしのなかの心理学	2(30)			0			
超科	身近な科学	2(30)	0					
目	○身体文化科目群							
	健康・スポーツ科学	1(15)				О		
	スポーツ	1(30)				0		
	〇社会的教育科目群							
	日本語表現	2(30)	0					
	身近な統計学	2(30)	0				•	
	クリエイティブデザイン	2(30)		0				
	英語コミュニケーション	2(30)				0		
	暮らしのなかの憲法	2(30)				0		
	〇: 連携開設科目群							
	データサイエンス	2(30)		0				
	笑いと健康	2(30)		0				
	市民社会論	2(30)				0		
	ESD入門	2(30)	0					
	人間と社会	2(30)	0					
	現代社会のマネジメント	2(30)			0			

共通科目…卒業要件18単位以上

			単位数	1	年	2	年	卒業	
		授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	備考
		衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	2(30)	0				•	
	ıλ	生活経営論	2(30)		0			•	
		人間関係論	2(30)				0	•	
	科	精神保健	2(30)			0		•	
	目		2(30)			0		•	
		食品衛生学	2(30)				0	•	
		秘書総論	2(30)	0					
		│   秘書実務	1(30)		0				
		秘書実務	1(30)		0				
		ビジネス実務演習	2(30)			0			
		文書デザイン	2(30)	0					
		情報社会論	2(30)		0				
			2(30)			0			
		マーケティング実践	2(30)				0		
		ファシリテーション	2(30)		0				
		情報活用演習(プレゼンテーション)	2(30)		0				
			2(30)			0			
			2(30)				0		
			2(30)	0					
l _			2(30)			0			
専門			1(30)		0				
教			1(30)			0			
育		社会人基礎論	2(30)	0					
科	亩	仕事と人生	2(30)	0					
目		社会実践	1(30)		0				
	科	基礎造形	2(30)				0		
	目	食生活論	2(30)			0			
		食文化論	2(30)			0			
		食育概論	2(30)			0			
		元気な子どもを育てる食事 (食物アレルギーを含む。)	1(15)				D		
		栄養学(食品学を含む。)	2(30)			0			
		フードコーディネート論	2(30)			0			
		調理学	2(30)			0			
		調理実習丨	1(45)			DO			
		調理実習Ⅱ	1(45)				DO		
		比較食物学	2(30)				0		
		看護概論	2(30)	0					
		小児保健	2(30)		0				
		保育学	2(30)				0		
		学校救急看護 I	2(60)	00					
		解剖・生理学	2(30)	0					
		薬理概論	2(30)		0				
		女性学	2(30)		0				
L		社会福祉論	2(30)				0		

## 1年生 2024 (令和6) 年度生 生活学科 食物栄養専攻 教育課程

#### 1 教育目標

- (1) 知性と教養と健全な心身を兼ね備え、科学的思考力のある栄養士の育成
- (2) 食品や栄養についての専門知識の習得
- (3) 第一線で活躍できる実践力の育成

#### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上(必修科目●印10単位、選択科目8単位以上)と専門教育科目から44単位以上(必修科目●印25単位を含む。)の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3 栄養士要件

食物栄養専攻に在籍し、栄養士法および同施行規則ならびに本学が以下により定める栄養士養成に 必要な単位(エ印)を修得しなければならない。

#### 4 栄養教諭二種免許状要件

栄養教諭二種免許状を取得しようとする者は、栄養教諭二種免許状取得のために必要な単位 (ユ) 印)を修得しなければならない。

#### 5 教育課程

	授 業 科 目		1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	/# <del>*/</del> /
	授 兼 科 日	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	備考
	○技法知科目群									
	みずほ教養演習	2(30)	0				•			
	みずほゼミI	1(30)	0				•			
	みずほゼミ	1(30)		0			•			
	みずほゼミ	1(30)			0		•			
	みずほゼミIV	1(30)				0	•			
	情報リテラシー	2(30)	0				•		王	
	○学問知科目群									
	暮らしのなかの心理学	2(30)			0					
	身近な科学	2(30)	0							
	○身体文化科目群									
共	健康・スポーツ科学	1(15)				а			王	
通	スポーツ	1(30)				0			王	
科	○社会的教育科目群									
目	日本語表現	2(30)	0							
	身近な統計学	2(30)	0				•			
	クリエイティブデザイン	2(30)	0							
	英語コミュニケーション	2(30)				0			Ŧ	
	暮らしのなかの憲法	2(30)				0			Œ	
	〇連携開設科目群									
	データサイエンス	2(30)		0						
	笑いと健康	2(30)		0						
	市民社会論	2(30)				0				
	ESD入門	2(30)	0							
	人間と社会	2(30)	0							
	現代社会のマネジメント	2(30)			0					

共通科目…卒業要件18単位以上

											~111	<b>水支Ⅱ10</b> 年正次 <b>工</b>
			授 業 科 目	単位	1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	備考
			汉 未 行 口	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	畑つ
専	栄	活社康と会	公衆衛生学	2(30)			0		•	エ		
門	養士	健生	社会福祉論	2(30)			0			エ		
教育	資	人と体	解剖・生理学	2(30)		0			•	エ		
科	格科	機の	解剖・生理学実験	1(45)		DO				エ		
目	目	能構造	生化学	2(30)	0				•	エ		

				単位数	1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	146 ±-
			授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	備考
		人と体	生化学実験	1(45)		DO				エ		
		機の	運動生理学	2(30)				0		エ		
		能 構造	栄養生理学	2(30)		0				エ		
		食衛	食品学総論	2(30)	0					エ		
		生と	食品学各論(食品加工学を含む。)	2(30)		0			•	エ		
		食品	食品学実験	1(45)				DO		エ		
		٤	食品衛生学	2(30)			0		•	エ		
		衛 生	食品衛生学実験	1(45)			DO			エ		
			栄養学総論	2(30)	0					エ		
	栄	栄	栄養学各論	2(30)		0			•	エ		
	養	養と	栄養学各論実習	1(45)			DO			エ		
	±	健	臨床栄養学総論	2(30)		0			•	エ		
	資	康	臨床栄養学各論	2(30)			0		•	エ		
	格		臨床栄養学実習	1(45)			DO			エ		
	科	栄	栄養指導論	2(30)		0			•	エ		
	目	養の	栄養指導論実習	2(90)			0	00		エ		
専	_	指導	実践栄養指導演習	2(30)		0				エ		
門教		49	公衆栄養学	2(30)				0		エ		
育			調理学	2(30)	0				•	エ		
科			調理実習I	2(90)	DO	DO				エ		
目		給食	調理実習Ⅱ	1(45)				DO		エ		
		の運	給食計画論	2(30)	0					エ		
		É	給食実務論	2(30)		0				エ		
			給食管理実習(学内)	2(90)			000			エ		
			給食管理実習(校外)	1(45)			DO			エ	-	
	教職	資格科目	学校栄養教育概論	2(30)		0					I	
		経営論		2(30)	0				•			
		関係論		2(30)				0	•			
		加工学実		1(30)				0	•			
			一(対応食を含む。)	1(15)			О					
		実践		1(30)				0				
	保育			2(30)				0				
		概論		2(30)		0						
		経済		2(30)			0					
			ィネート論	2(30)			0					
			ャリスト論	2(30)				0				
	食品	官能評価	・鑑別論(統計処理を含む。)	2(60)				00				

#### □教職専門科目(卒業単位に算入しない。)

	授 業 科 目	単位	1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	備考
	坟 未 付 日	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	)佣布
	教育原理	1(15)	D						Ŧ	
	教師論	2(30)	0						Ŧ	
	教育行政	1(15)		D					Ŧ	
	教育心理学	2(30)	0						Ŧ	
教	特別支援教育概論	1(15)	D						Ŧ	
職専	教育課程論	1(15)		D					Ŧ	
門	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	0						Ŧ	
科	教育方法	1(15)			D				Ŧ	
E E	生徒指導の理論と実践	1(15)	D						Œ	
	教育相談の理論と実践	1(15)		D					Ŧ	
	教職実践演習(栄養教諭)	2(30)				0			Ŧ	
	栄養教育実習(事前・事後指導を含む。)	2(60)			事前事後 指導20H				I	
	不食外月天白(尹即・尹恢拍等を召む。)	2(00)			指導20H 教育実習 40H				Ŧ	

## 1年生 2024 (令和6) 年度生 現代幼児教育学科 教育課程

#### 1. 教育目標

- (1) 保育者としての責任や役割を自覚し、社会に貢献できる人材の育成
- (2) 科学的思考により磨かれた視野と豊かな人間性を備えた保育者の育成
- (3) 現代的課題に対応できる専門的知識と保育実践力の習得

#### 2. 卒業要件

共通科目10単位以上(必修科目●印10単位)と、専門教育科目52単位以上 (必修科目●印16単位を含む。) の合計62単位以上を修得することが必要 かつ、fGPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3. 保育士資格要件

保育士資格を取得しようとする者は現代幼児教育学科に在籍し、児童福祉法および 同法施行規則ならびに本学が以下により定める必要な単位(保印必修、

(保) 印選択必修6単位以上) を修得しなければならない。

#### 4. 幼稚園教諭二種免許状資格要件

幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、幼稚園教諭二種免許状取得のために必要な 単位(幼印必修)を修得しなければならない。

#### 5. 教育課程

授 業 科 目		_	年		年	卒業	保育士	幼免	備考
	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	休月工	二種	1用 45
)技法知科目群									
みずほ教養演習	2(30)	0				•			
みずほゼミ	1(30)	0				•	保		
みずほゼミ	1(30)		0			•	保		
みずほゼミⅢ	1(30)			0		•	保		
みずほゼミIV	1(30)				0	•	保		
情報リテラシー	2(30)	0				•		幼	
)学問知科目群									
暮らしのなかの心理学	2(30)	0							
身近な科学	2(30)	0							
)身体文化科目群									
健康・スポーツ科学	1(15)		D				保	幼	
スポーツ	1(30)	0					保	幼	
)社会的教育科目群									
日本語表現	2(30)	0							
身近な統計学	2(30)		0			•			
クリエイティブデザイン	2(30)		0						
英語コミュニケーション	2(30)	0					保	幼	
暮らしのなかの憲法	2(30)	0					保	幼	
)連携開設科目群									
データサイエンス	2(30)		0						
笑いと健康	2(30)		0						
市民社会論	2(30)		0						
ESD入門	2(30)	0					(保)		
人間と社会	2(30)	0							
現代社会のマネジメント	2(30)			0					
	みずほゼミ II   みずほゼミ III   みずほゼミ IV   情報リテラシー   受問知科目群   暮らしのなかの心理学   身近な科学   り体文化科目群   健康・スポーツ科学   スポーツ   社会的教育科目群   日本語表現   身近な統計学   クリエイティブデザイン   英語コミュニケーション   暮らしのなかの憲法   D連携開設科目群   データサイエンス   笑いと健康   市民社会論   ESD入門   人間と社会	みずほゼミ I 1(30)   みずほゼミ II 1(30)   みずほゼミ IV 1(30)   情報リテラシー 2(30)   沙筒知科目群 2(30)   身近な科学 2(30)   り身体文化科目群 (1(15)   スポーツ 1(30)   ひ社会的教育科目群 2(30)   身近な統計学 2(30)   クリエイティブデザイン 2(30)   英語コミュニケーション 2(30)   暮らしのなかの憲法 2(30)   び連携開設科目群 データサイエンス 2(30)   変いと健康 2(30)   市民社会論 2(30)   ESD入門 2(30)   人間と社会 2(30)	みずほゼミ I 1(30) ○	みずほゼミ I 1(30) ○	みずほゼミ I 1(30) ○   みずほゼミ II 1(30) ○   みずほゼミ IV 1(30) ○   情報リテラシー 2(30) ○   沙学問知科目群 2(30) ○   身近な科学 2(30) ○   り身体文化科目群 (1(15) (1   大ボーツ 1(30) ○   シ社会的教育科目群 2(30) ○   ウリエイティブデザイン 2(30) ○   英語コミュニケーション 2(30) ○   薬店コミュニケーション 2(30) ○   事らしのなかの憲法 2(30) ○   沙連携開設科目群 フタサイエンス 2(30) ○   実いと健康 2(30) ○   市民社会論 2(30) ○   ESD入門 2(30) ○   人間と社会 2(30) ○	みずほゼミ I	A ずほゼミ   1(30)	みずほゼミ I 1(30) ○ 保 保 みずほゼミ II 1(30) ○ 保 保 みずほゼミ II 1(30) ○ 保 保 タずほゼミ II 1(30) ○ 保 保 タずほゼミ IV I(30) ○ 保 保 例	Aずほゼミ   1(30)

専門教育科目

男["	教育科目				1	,		1	/1./7	
	授 業 科 目	単位 (時間数)	1 前期	年 後期	2 前期	と年 後期	卒業 要件	保育士	幼免 二種	備考
	保育原理	2(30)	0	1久州1	HJ共口	仮知	<u>安</u> 什	保		
	教育基礎論	2(30)	0				•	保	幼	
	子ども家庭福祉	2(30)		0				保	-73	
	社会福祉	2(30)	0					保		
	子ども家庭支援論	2(30)				0		保		
	社会的養護Ⅰ	2(30)		0				保		
	現代教職論	2(30)	0					保	幼	
	比較幼児教育論	2(30)				0		(保)	2/J	
	保育の心理学	2(30)		0			•	保		
	子ども家庭支援の心理学	2(30)		0		0		保		
	子どもの理解と援助									
	子どもの保健	1(15)		0				保		
	***	2(30)		0			•	保		
	子どもの食と栄養	2(30)			0			保		
	教育心理学	2(30)	0					(保)	幼	
	保育の計画と評価	2(30)			0			保		
	保育内容総論	1(15)	D				•	保	幼	
	環境	1(15)		D				保	幼	
	言葉	1(30)	0					保	幼	
	健康	1(30)		0			•	保	幼	
	表現	1(30)	0					保	幼	
	人間関係	1(30)	0					保	幼	
	保育内容指導法(環境)	1(30)			0			保	幼	
	保育内容指導法(言葉)	1(30)		0				保	幼	
専	保育内容指導法(健康)	1(30)			0			保	幼	
門	保育内容指導法(表現 1)	1(30)		0				保	幼	
教	保育内容指導法(表現 II )	1(30)		0				保	幼	
育	保育内容指導法(人間関係)	1(30)		0				保	幼	
科	乳児保育 I	2(30)	0					保		
目	乳児保育Ⅱ	1(30)		0				保		
	子どもの健康と安全	1(30)				0		保		
	特別支援教育・保育	2(30)			0		•	保	幼	
	社会的養護Ⅱ	1(15)				О		保		
	子育て支援	1(15)				О		保		
	教育方法	2(30)			0			(保)	幼	
	音楽	2(60)	0	0				(保)		
	子どもの質問に答える理科	2(30)		0				(保)		
	児童文化	2(30)				0		(保)		
	幼児理解の理論と教育相談	2(30)			0		•	(保)	幼	
	幼児教育課程論	2(30)		0			•	(保)	幼	
	保育実習 I (保育所)	2(80)		0				保		
		2(80)			0			保		
	保育実習Ⅱ	2(80)				0		保		
	保育実習指導 I (保育所)	1(30)		0				保		
	保育実習指導 I (施設)	1(30)			0			保		
	保育実習指導Ⅱ	1(30)				0		保		
	保育・教職実践演習(幼稚園)	2(30)				0		保	幼	
	創造活動丨	1(30)			0			N.	273	
	創造活動Ⅱ	1(30)				0				
	予じるの遊びと健康	2(30)	0							
	ナともの遊びと健康 I 子どもの遊びと健康 II	2(30)		0						
		1(30)	0							
	保育実践 教育実習 ※事前事後指導1単位(30H)を含む。								<b>√</b> +	
	教育実習 ※事前事後指導1単位 (30H)を含む。	5(150)	<u></u>		0			亩門粉夲	幼	要件52単位以上

## 2年生 2024 (令和6) 年度生 生活学科 生活文化専攻 養護教諭コース 教育課程

#### 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに学校教育を理解し、養護教諭の果たす役割を追究する姿勢の育成
- (2) 子どもの心身の健康・安全意識を育てる能力の育成
- (3) 子どもや子ども集団の健康問題に対処できる実践力の習得

#### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上(必修科目●印10単位、選択科目8単位以上)と専門教育科目から44単位以上(必修科目●印12単位を含む。)の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3 養護教諭二種免許状

養護教諭二種免許状を取得しようとする者は、養護教諭二種免許状取得のために 必要な単位(ヨ印)を修得しなければならない。

#### 4 教育課程

	授 業 科 目	単位数	1	年	2	年	卒業	養護教諭	/ <del>#</del> <del>*/</del>
	技 耒 件 日	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	免許要件	備考
	○技法知科目群								
	みずほ教養演習	2(30)	0				•		
	みずほゼミ	1(30)	0				•		
	みずほゼミ	1(30)		0			•		
	みずほゼミⅢ	1(30)			0		•		
	みずほゼミIV	1(30)				0	•		
	情報リテラシー	2(30)	0				•	3	
	○学問知科目群								
	暮らしのなかの心理学	2(30)			0				
	身近な科学	2(30)	0						
	○身体文化科目群								
共	健康・スポーツ科学	1(15)				О		3	
通	スポーツ	1(30)				0		3	
科	○社会的教育科目群								
目	日本語表現	2(30)	0						
	身近な統計学	2(30)	0				•		
	クリエイティブデザイン	2(30)		0					
	英語コミュニケーション	2(30)				0		3	
	暮らしのなかの憲法	2(30)				0		3	
	○連携開設科目群								
	データサイエンス	2(30)		0					
	笑いと健康	2(30)		0					
	市民社会論	2(30)				0			
	ESD入門	2(30)	0						
	人間と社会	2(30)	0						
	現代社会のマネジメント	2(30)			0				

共通科目…卒業要件18単位以上

	155 AMA 501 E	単位数	1	年	2	年	W (I	養護教諭	644- ±4
	授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	卒業要件	免許要件	備考
	生活文化論	2(30)			0		•		
	人間関係論	2(30)				0	•		
	生活経営論	2(30)		0			•		
		2(30)				0	•		
		2(30)			0			3	
	   学校救急看護	2(60)	00					3	
		2(30)				0		3	
		2(30)	0				•	3	
		2(30)		0				3	
	上 精神保健	2(30)			0		•	3	
	看護概論	2(30)	0					3	
		2(60)		00				3	
	小児保健	2(30)				0			
	臨床実習	2(90)		000				3	
	薬理概論	2(30)		0			1	3	
	養護概説	2(30)		0			1	3	
	健康相談活動の理論及び方法	2(60)		00				3	
	学校保健(学校安全を含む。)	2(60)	00	00				3	
	発達心理学	2(30)		0					
	養護実践演習(保健管理)	1(30)		0	0				
_	養護実践演習(保健教育)	1(30)			0				
専門	養護実践演習(保健組織活動)	1(30)				0	1		
教	養護実践演習(保健室経営)	1(30)				0	1		
育	養護教諭基礎演習	1(30)	0						
科	養護教諭開発演習	1(30)	0	0					
目	文書デザイン	2(30)	0	0					
	情報社会論	2(30)	0						
	Webデザイン演習	2(30)	0		0				
	ファシリテーション	2(30)		0					
	情報活用演習(プレゼンテーション)	2(30)		0					
				0					
	情報活用演習(表計算) 	2(30)			0				
	保育学					0			
		2(30)				0			
	食育概論 元気な子どもを育てる食事	2(30)			0				
	(食物アレルギーを含む。)	1(15)				D			
	基礎造形	2(30)			0				
		2(30)		0					
	 社会福祉論	2(30)				0			
	L 比較食物学	2(30)				0			
	フードコーディネート論	2(30)			0		1		
	調理実習I	1(45)			DO				
	調理実習Ⅱ	1(45)				DO	1		
	食文化論	2(30)			0				
	食生活論	2(30)			0				
	社会実践	1(30)		0			1		
Щ		1(00)		Ü	<u> </u>		<u> </u>	<b>⊨ == */- *</b> - *\	

専門教育科目…卒業要件44単位以上

#### □教職専門科目(卒業単位に算入しない。)

	授 業 科 目	単位数	1	年	2	年	養護教諭	備考
	坟 耒 竹 日	(時間数)	前期	後期	前期	後期	免許要件	川で
	教育原理	1(15)	D				3	
	教師論	2(30)	0				3	
	教育行政	1(15)		П			3	
	教育心理学	2(30)	0				3	
教	特別支援教育概論	1(15)	О				3	
職	教育課程論	1(15)					ш	
専	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	0				ш	
門	教育方法	1(15)			О		ш	
科目	生徒指導の理論と実践	1(15)	О				3	
	教育相談の理論と実践	1(15)		О			3	
	教職実践演習 (養護教諭)	2(30)				0	3	
	養護実習(事前・事後指導を含む。)	4(150)		(18H)	(120H)	(12H)	П	

### 2年生 2024 (令和6) 年度生

## 生活学科 生活文化専攻 オフィス総合コース 教育課程

#### 1 教育目標

- (1) 科学的思考をもとに職業人として求められる幅広い教養と豊かな人間性の育成
- (2) 多様化するビジネス社会で幅広く活躍できる実務力の習得
- (3) 資格取得に積極的にチャレンジする意欲・活力の育成

#### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上(必修科目●印10単位、選択科目8単位以上)と 専門教育科目から44単位以上(必修科目●印12単位を含む。)の合計62単位以上を 修得することが必要

かつ、fGPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3 教育課程

	100 WK 1/1 D	単位数	1	年	2	年	卒業	/#: +v
	授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	備考
	○技法知科目群							
	みずほ教養演習	2(30)	0				•	
	みずほゼミI	1(30)	0				•	
	みずほゼミ	1(30)		0			•	
	みずほゼミⅢ	1(30)			0		•	
	みずほゼミIV	1(30)				0	•	
	情報リテラシー	2(30)	0				•	
	○学問知科目群							
共	暮らしのなかの心理学	2(30)			0			
通科	身近な科学	2(30)	0					
目	○身体文化科目群							
	健康・スポーツ科学	1(15)				D		
	スポーツ	1(30)				0		
	〇社会的教育科目群							
	日本語表現	2(30)	0					
	身近な統計学	2(30)	0				•	
	クリエイティブデザイン	2(30)		0				
	英語コミュニケーション	2(30)				0		
	暮らしのなかの憲法	2(30)				0		
	〇: 連携開設科目群							
	データサイエンス	2(30)		0				
	笑いと健康	2(30)		0				
	市民社会論	2(30)				0		
	ESD入門	2(30)	0					
	人間と社会	2(30)	0					
	現代社会のマネジメント	2(30)			0			

共通科目…卒業要件18単位以上

		15 NV 51 5	単位数	1	年	2	年	卒業	
		授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	備考
		衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	2(30)	0				•	
	必	生活経営論	2(30)		0			•	
	修		2(30)				0	•	
	科	精神保健	2(30)			0		•	
	目	生活文化論	2(30)			0		•	
		食品衛生学	2(30)				0	•	
		秘書総論	2(30)	0					
		秘書実務 I	1(30)		0				
		秘書実務Ⅱ	1(30)		0				
		ビジネス実務演習	2(30)			0			
		文書デザイン	2(30)	0					
		情報社会論	2(30)	0					
		マーケティング基礎論	2(30)			0			
		マーケティング実践	2(30)				0		
		ファシリテーション	2(30)		0				
		情報活用演習(プレゼンテーション)	2(30)		0				
		情報活用演習(表計算)	2(30)			0			
		情報活用演習(データ整理・解析)	2(30)				0		
		メディア実践	2(30)	0					
専		Webデザイン演習	2(30)			0			
門		簿記会計	1(30)		0				
教		簿記会計Ⅱ	1(30)			0			
育		社会人基礎論	2(30)	0					
科目	専	仕事と人生	2(30)	0					
		社会実践	1(30)		0				
	科目	基礎造形	2(30)				0		
		食生活論	2(30)			0			
		食文化論	2(30)			0			
		食育概論	2(30)			0			
		元気な子どもを育てる食事 (食物アレルギーを含む。)	1(15)				D		
		栄養学(食品学を含む。)	2(30)			0			
		フードコーディネート論	2(30)			0			
		調理学	2(30)			0			
		調理実習 I	1(45)			00			
		調理実習Ⅱ	1(45)				00		
		比較食物学	2(30)				0		
		看護概論	2(30)	0					
		小児保健	2(30)				0		
		保育学	2(30)				0		
		学校救急看護	2(60)	00	_				
		解剖・生理学	2(30)		0				
		薬理概論	2(30)		0				
		女性学	2(30)		0				
		社会福祉論	2(30)				0		

## 2年生2024(令和6)年度生 生活学科 食物栄養専攻 教育課程

#### 1 教育目標

- (1) 知性と教養と健全な心身を兼ね備え、科学的思考力のある栄養士の育成
- (2) 食品や栄養についての専門知識の習得
- (3) 第一線で活躍できる実践力の育成

#### 2 卒業要件

共通科目から18単位以上(必修科目●印10単位、選択科目8単位以上)と専門教育科目から44単位以上(必修科目●印25単位を含む。)の合計62単位以上を修得することが必要かつ、f GPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3 栄養士要件

食物栄養専攻に在籍し、栄養士法および同施行規則ならびに本学が以下により定める栄養士養成に 必要な単位(エ印)を修得しなければならない。

#### 4 栄養教諭二種免許状要件

栄養教諭二種免許状を取得しようとする者は、栄養教諭二種免許状取得のために必要な単位 (\*) (近年 印) 修得しなければならない。

#### 5 教育課程

	授 業 科 目	単位数	1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	備考
	坟 耒 柗 日	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	1佣-5
	○技法知科目群									
	みずほ教養演習	2(30)	0				•			
	みずほゼミ	1(30)	0				•			
	みずほゼミ	1(30)		0			•			
	みずほゼミⅢ	1(30)			0		•			
	みずほゼミIV	1(30)				0	•			
	情報リテラシー	2(30)	0				•		I	
	○学問知科目群									
	暮らしのなかの心理学	2(30)			0					
	身近な科学	2(30)	0							
	○身体文化科目群									
共	健康・スポーツ科学	1(15)				О			I	
通	スポーツ	1(30)				0			(I)	
科	〇社会的教育科目群									
目	日本語表現	2(30)	0							
	身近な統計学	2(30)	0				•			
	クリエイティブデザイン	2(30)	0							
	英語コミュニケーション	2(30)				0			Œ	
	暮らしのなかの憲法	2(30)				0			(I)	
	○連携開設科目群								Ŭ	
	データサイエンス	2(30)		0						
	笑いと健康	2(30)		0						
	市民社会論	2(30)				0				
	ESD入門	2(30)	0							
	人間と社会	2(30)	0							
	現代社会のマネジメント	2(30)			0					

									_		~=111	スクロ10十 <u>ロ</u> スエ
	授業科目		単位	1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	備考	
			12 未 行 口	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	畑つ
専	栄	活社康と会	公衆衛生学	2(30)			0		•	エ		
門	養士	健生	社会福祉論	2(30)			0			エ		
教育	資	人と体	解剖・生理学	2(30)		0			•	エ		
科	格科	機の	解剖・生理学実験	1(45)		DO				エ		
目	目	能構造	生化学	2(30)	0				•	エ		

			le 1114 et 1	単位数	1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	
			授業科目	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	備考
		人と 体	生化学実験	1(45)		DO				エ		
		機の	運動生理学	2(30)			0=	<b>&gt;</b> 0		エ		
		能構造	栄養生理学	2(30)		0				エ		
		食	食品学総論	2(30)	0					エ		
		生と	食品学各論(食品加工学を含む。)	2(30)		0			•	エ		
		食品	食品学実験	1(45)				DO		エ		
		٤	食品衛生学	2(30)			0		•	エ		
		街生	食品衛生学実験	1(45)			DO			エ		
			栄養学総論	2(30)	0					エ		
	栄	栄	栄養学各論	2(30)		0			•	I		
	養	<b>養</b> と	栄養学各論実習	1(45)			DO			Н		
	±	健	臨床栄養学総論	2(30)		0			•	T		
	資	康	臨床栄養学各論	2(30)			0		•	I		
	格		臨床栄養学実習	1(45)			DO			Н		
	科	栄	栄養指導論	2(30)		0			•	Н		
١.	目	養の	栄養指導論実習	2(90)			0	00		Н		
専		指	実践栄養指導演習	2(30)		0				エ		
門教		導	公衆栄養学	2(30)				0		I		
育			調理学	2(30)	0				•	I		
科			調理実習I	2(90)	DO	DO				エ		
目		給食	調理実習Ⅱ	1(45)				O		エ		
		の 運	給食計画論	2(30)	0					エ		
		2	給食実務論	2(30)		0				エ		
			給食管理実習(学内)	2(90)			000			エ		
			給食管理実習(校外)	1(45)			DO			エ		
	教職	資格科目	学校栄養教育概論	2(30)		0					T	
	生活	経営論		2(30)	0				•			
	人間	関係論		2(30)				0	•			
		加工学実		1(30)				0	•			
	食物	アレルギ	一(対応食を含む。)	1(15)			О					
	社会!			1(30)				0				
	保育:	学		2(30)				0				
	薬理	概論		2(30)		0						
	食料	経済		2(30)			0					
	フー	ドコーデ	イネート論	2(30)			0					
	フー	ドスペシ	ャリスト論	2(30)				0				
	食品'	官能評価	・鑑別論(統計処理を含む。)	2(60)				00				

#### □教職専門科目(卒業単位に算入しない。)

	授業科目	単位	1	年	2	年	卒業	栄養士	栄養教諭	備考
	坟 耒 付 口	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	要件	要件	)用"与
	教育原理	1(15)	D						Ŧ	
	教師論	2(30)	0						王	
	教育行政	1(15)		D					工	
	教育心理学	2(30)	0						I	
教	特別支援教育概論	1(15)	D						I	
職専	教育課程論	1(15)		D					Ŧ	
門	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動の理論	2(30)	0						正	
科	教育方法	1(15)			D				Œ	
目	生徒指導の理論と実践	1(15)							Ŧ	
	教育相談の理論と実践	1(15)		D					Ŧ	
	教職実践演習 (栄養教諭)	2(30)				0			Ŧ	
	栄養教育実習(事前・事後指導を含む。)	2(60)			事前事後 指導20H 教育実習 40H				Ŧ	

## 2年生 2024 (令和6) 年度生 現代幼児教育学科 教育課程

#### 1. 教育目標

- (1) 保育者としての責任や役割を自覚し、社会に貢献できる人材の育成
- (2) 科学的思考により磨かれた視野と豊かな人間性を備えた保育者の育成
- (3) 現代的課題に対応できる専門的知識と保育実践力の習得

#### 2. 卒業要件

共通科目10単位以上(必修科目●印10単位)と、専門教育科目52単位以上 (必修科目●印16単位を含む。) の合計62単位以上を修得することが必要 かつ、fGPAの通算値が0.7以上であること。

#### 3. 保育士資格要件

保育士資格を取得しようとする者は現代幼児教育学科に在籍し、児童福祉法および 同法施行規則ならびに本学が以下により定める必要な単位(保印必修、

(保) 印選択必修6単位以上) を修得しなければならない。

#### 4. 幼稚園教諭二種免許状資格要件

幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、幼稚園教諭二種免許状取得のために必要な 単位(幼印必修)を修得しなければならない。

#### 5. 教育課程

	授業科目		1	年	2	年	卒業	保育士	幼免	備考
	技 耒 柗 日	(時間数)	前期	後期	前期	後期	要件	休月工	二種	1用考
	○技法知科目群									
	みずほ教養演習	2(30)	0				•			
	みずほゼミI	1(30)	0				•	保		
	みずほゼミ	1(30)		0			•	保		
	みずほゼミ	1(30)			0		•	保		
	みずほゼミIV	1(30)				0	•	保		
	情報リテラシー	2(30)	0				•		幼	
	○学問知科目群									
	暮らしのなかの心理学	2(30)	0							
	身近な科学	2(30)	0							
	○身体文化科目群									
共	健康・スポーツ科学	1(15)		D				保	幼	
通	スポーツ	1(30)	0					保	幼	
科	○社会的教育科目群									
目	日本語表現	2(30)	0							
	身近な統計学	2(30)		0			•			
	クリエイティブデザイン	2(30)		0						
	英語コミュニケーション	2(30)	0					保	幼	
	暮らしのなかの憲法	2(30)	0					保	幼	
	○連携開設科目群									
	データサイエンス	2(30)		0						
	笑いと健康	2(30)		0						
	市民社会論	2(30)		0						
	ESD入門	2(30)	0					(保)		
	人間と社会	2(30)	0							
	現代社会のマネジメント	2(30)			0					

亩門数苔科日

専门?	教育科目	32 /L	1	<del>ار</del>		) /r	卒業	1	幼免	
	授 業 科 目	単位 (時間数)	前期	年 後期	前期	2 年 後期	要件	保育士	二種	備考
1	保育原理	2(30)	0	54743	133743	5,77	•	保	I	
į.	教育基礎論	2(30)	0				•	保	幼	
-	子ども家庭福祉	2(30)		0				保		
1	 社会福祉	2(30)	0					保		
-		2(30)				0		保		
1	社会的養護 I	2(30)		0				保		
3	現代教職論	2(30)	0					保	幼	
j		2(30)				0		(保)		
1	保育の心理学	2(30)		0			•	保		
-		2(30)				0		保		
-		1(15)		О				保		
-		2(30)		0			•	保		
	子どもの食と栄養	2(30)			0			保		
_	ション・ペー・・・ペー・・・ペー・・・ペー・・ペー・・ペー・・ペー・・ペー・・ペー・	2(30)	0					(保)	幼	
L	保育の計画と評価	2(30)			0			保	-73	
-	保育内容総論	1(15)	D				•	保	幼	
L L	環境	1(15)	J	О				保	幼	
-	言葉	1(30)	0	U				保	幼	
L	建康	1(30)	0	0			•	保	幼	
_	表現	1(30)	0					保	幼	
	人間関係	1(30)	0					保	幼幼	
_	保育内容指導法(環境)	1(30)			0			保	幼幼	
-	保育内容指導法(言葉)	1(30)						保	幼幼	
				0						
7	保育内容指導法(健康)	1(30)		0	0			保	幼	
'''	保育内容指導法(表現   )	1(30)		0				保	幼	
	保育内容指導法(表現Ⅱ)	1(30)		0				保	幼	
- L	保育内容指導法(人間関係)	1(30)	-	0				保	幼	
	乳児保育	2(30)	0					保		
ľ	乳児保育 II	1(30)		0				保		
-	子どもの健康と安全	1(30)				0		保		
	特別支援教育・保育	2(30)			0		•	保	幼	
-	社会的養護 II	1(15)				D		保		
_	子育て支援	1(15)				D		保		
L	教育方法	2(30)			0			(保)	幼	
	音楽	2(60)	0	0				(保)		
Ė	子どもの質問に答える理科	2(30)		0				(保)		
	児童文化	2(30)				0		(保)		
F	幼児理解の理論と教育相談	2(30)			0		•	(保)	幼	
⊢	幼児教育課程論	2(30)		0			•	(保)	幼	
L	保育実習 I (保育所)	2(80)		0				保		
1	保育実習I(施設)	2(80)			0			保		
1	保育実習Ⅱ	2(80)				0		保		
1	保育実習指導I(保育所)	1(30)		0				保		
1	保育実習指導 I (施設)	1(30)			0			保		
1	保育実習指導	1(30)				0		保		
1	保育・教職実践演習(幼稚園)	2(30)				0		保	幼	
ĵ	創造活動	1(30)			0					
ĵ	創造活動Ⅱ	1(30)				0				
	子どもの遊びと健康I	2(30)	0							
	子どもの遊びと健康Ⅱ	2(30)		0						
1	保育実践	1(30)	0							
ā	教育実習 ※事前事後指導1単位 (30H)を含む。	5(150)			0				幼	

## 令和5年度 愛知みずほ大学からの 単位互換提供科目

短期大学の学生が、愛知みずほ大学の授業科目を履修し、修得した単位を短期大学の単位として認定する制度です。令和 6 年度における愛知みずほ大学からの単位互換科目は、以下のとおりです。短期大学にはない授業科目が提供され、知的な関心や興味に応じた授業が受講できます。受講者は、講義開始 1 週間以内に事務局において手続きを行ってください。

共通科目は、受講人数に制限があり、申し出順により受け付けします。

教科書を購入していただく科目もありますが、受講料は無料です。全て対面授業により 行います。

科目名	担当者	学期	曜日	時限
英語コミュニケーション(中級会話)	榊原 アイリン	前期	金	3
		後期	金	2
英語コミュニケーション(上級会話)	榊原 アイリン	前期	金	2
中国語入門	虞 萍	前期	月	1
韓国語入門	金 由那	前期	金	5
		後期	金	5

## ルーブリック(成績評価)

### 【レポート】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
提出様式	<ul><li>・レポートの書式が守られている。</li><li>・字数制限が守られている。</li></ul>	・レポートの書式がおおよそ 守られている。 ・字数制限が少し守られて いない。	・レポートの書式が守られて いない。 ・字数制限が守られていない。
文章表現	・誤字脱字がない。 ・語彙が適切に使われている。 ・主語・述語が対応している。	<ul><li>・誤字脱字が少しある。</li><li>・語彙が適切に使われていないところがある。</li><li>・主語・述語が対応していないところがある。</li></ul>	・誤字脱字が多い。 ・語彙が適切に使われていない。 ・主語・述語が対応していない。
論理性	・根拠に基づいて、正確な説明ができている。	・根拠に基づいて、正確な説明ができていないところがある。	・根拠に基づいて、正確な説明が できていない。
内容の質	・課題に対して適切な回答内容 である。 ・論旨が明確である。 ・オリジナリティがある。	<ul><li>・課題に対して適切な回答内容ではないところがある。</li><li>・論旨が明確ではないところがある。</li><li>・オリジナリティがあるとはいえない。</li></ul>	・課題に対して適切な回答内容 でない。 ・論旨が不明確である。 ・オリジナリティがない。
提出期限	・提出期限が守られている。	・提出期限が守られている。	・提出期限が守られなかった。

### 【実験レポート】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
〔記述方法〕 ●適正な時制 による表現	・目的(現在形)と方法(過去 形)の両方が、適正な時制で 表現されている。	・目的(現在形)と方法(過去 形)のどちらかの時制が不 適正な表現である。	・目的(現在形)と方法(過去 形)の両方が不適正な時制で 表現されている。
●小論文に そった表現	・書き言葉、「だ、である」調で簡潔に表現されている。 その際、体言止めや倒置法 を 用いていない。	<ul><li>・書き言葉、「だ、である」調ではあるが簡潔性が欠ける。</li><li>その際、体言止めや倒置法を用いていない。</li></ul>	・書き言葉、「だ、である」調 の表現がなされておらず、 簡潔性も欠ける。
●基礎的理解 (目的、方法 の把握)	・目的と方法の関係に対する 理解が充分である。	・目的と方法の関係に対する 理解が不十分である。	・目的と方法に対する理解が できていない。
●発展的理解 (結果、考察)	・適正な結果に対し、解釈が 適正である。 ・不適正な結果ではあるが、 その結果に対し、解釈が合 理的である。	・適正な結果に対し、解釈が 不十分である。 ・不適正な結果への解釈が 不十分である。	・適正な結果に対し、解釈が 不適正である。 ・不適正な結果への解釈が不適 正ある。

## 【グループワーク】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
調査と情報 収集	・基礎的な情報収集がされている。	・話題に関連する情報収集があまりない。	・話題に関連する情報が全く ない。
情報共有	・多くの話題に関連した基礎的 な情報をある程度伝達して いる。	・話題に関係する情報を一部伝 達している。	・メンバーに情報を全く伝達していない。
議論への参加	・積極的に自分の意見を述べ、 他のメンバーの意見も尊重 して聞く。	・うなずく等、他のメンバーの意見を聞く姿勢がみられるが、 自分の意見を積極的に述べない。	・議論に全く参加しない。
グループ活 動への取り 組み	・メンバー間でのコミュニケー ションが十分にとれており、 メンバーとしての役割を 果たしている。	・メンバー間でのコミュニケー ションがとれているが、ほとん ど役割を果たさない。	・メンバー間でのコミュニケー ションがとれておらず、 決められた役割を果たしてい ない。

## 【プレゼンテーション】

	基準を満たしている	あと少しで基準を満たす	努力を要す
内容· 構成	<ul><li>・内容の構成が分かりやすく、 理解しやすい。</li><li>・重要なポイントが強調されている。</li></ul>	・内容の構成に改善の余地が若干あり、理解しにくい部分がある. ・ポイントがやや不明瞭である.	・内容の構成が分かりにくく、 理解しづらい. ・ポイントが不明瞭である.
発表姿勢	・発表全体を通して、聴衆を見ている。 ・教室全体に声が届いており、 内容がよく聞き取れる。 ・やる気、人を動かす熱意も十分 表現されている。	<ul><li>・発表中に、聴衆を見ていないことが時々ある。</li><li>・教室全体に声が届いているが、時々、内容が聞き取れないことがある。</li><li>・やる気がないわけではないが、人を動かすほどの熱意にまでは表現されていない。</li></ul>	<ul><li>・発表全体を通して、聴衆を見ていないことが多い。</li><li>・教室全体に声が届かず、端では内容がよく聞き取れない。</li><li>・やる気が表現されておらず、淡々と発表をこなしているように見える。</li></ul>
資料	<ul><li>・文字は、読みやすい。</li><li>・絵や図は関心をひきつけ、</li><li>プレゼンテーションのテーマや</li><li>内容を引き立たせている。</li></ul>	<ul><li>・文字は、内容を補うために注意 深く書かれているが、やや読み にくいところがある。</li><li>・絵や図は、関心をひきつけてい るが、プレゼンテーションの テーマや内容とは関連性が 弱い。</li></ul>	<ul><li>・文字は、内容を読み取りやすい ものでない。</li><li>・いくつかの絵や図は、注意を引 くようなものでなくプレゼンテ ーションの内容との関連性も ない。</li></ul>
質疑応答	<ul><li>・質問を正確に理解しており、 応答が的を射ている。</li><li>・応答は誠意のあるものになって おり、やりとりが建設的で ある。</li></ul>	<ul><li>・質問を正確に理解しているが、 応答が的を射ていない。</li><li>・応答は誠意を持ったものになっており、やりとりが建設的である。</li></ul>	・質問を正確に 理解していない ために応答が的を射ていない。 ・応答は、質問者や聞き手に不愉 快な思いをさせている。
発表時間	・発表時間は、規定時間内であり、 ぎりぎりまで有効に時間を使っ ていた。	・発表時間は、規定時間内であったが、若干早い時間で終了した。	・発表時間は規定時間を過ぎた。 もしくは大幅に早い時間で終了 した。

D P		評価指標	4	3	2	1
	科学的思考力を身につける。	レポート作成に際し、またグループ	常にできてい	心がけてはいる	意識することは	全く意識しない
1	(物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考える	活動の結論に対して、調査資料を尊	る。	が、できない時	ある(できる時	(できない)。
	ことができる。)	重して考えることができる。		もある。	もある)。	
	自律性を身につける。	グループ活動の結論を人任せにしな	常にできてい	心がけてはいる	意識することは	全く意識しない
	(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成	いで、きちんと自分の意見を発言で	る。	が、できない時	ある(できる時	(できない)。
2	するために積極的に取り組むことができる。)	きる。		もある。	もある)。	
		自分で学修計画を立て、それを達成				
		することができる。				
	科学的思考力を多元的に活用できる力を身につける。	一つの課題に対し、複数の答えを見	常にできてい	心がけてはいる	意識することは	全く意識しない
3	(課題に対し、原因を科学的に分析し、多元的な視点か	つけることができる。	る。	が、できない時	ある(できる時	(できない)。
	ら情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。)			もある。	もある)。	
	コミュニケーション力を身につける。	自分と異なる意見を理解しようとす	常にできてい	心がけてはいる	意識することは	全く意識しない
4	(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動するこ	ることができる。	る。	が、できない時	ある(できる時	(できない)。
	とができる。			もある。	もある)。	
	専門的知識・技術の理解をする。	DP5に属する授業科目の内容を理	かなりできた。	できないことも	できないことが	できなかった。
5	(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)	解できる。		あった。	多かった。	
	強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。	DP6に属する授業科目の理解に演	かなりできた。	できないことも	できないことが	できなかった。
6	(専門知識・技術を演習・実習・実験をとおして深く理	習・実習・実験を役立てることがで		あった。	多かった。	
	解し、説明することができる。)	きる。				
	社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身に	学外実習先の指導者の指示・要望を	かなりできた。	できないことも	できないことが	できなかった。
7	つける。 (専門知識・技術を学外実習等	自分なりに理解し行動することがで		あった。	多かった。	
	で臨機応変に行動する事ができる。)	きた。				
	社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。	自分のスキルを活かして、社会のた	常にできてい	心がけてはいる	意識することは	全く意識しない
8	(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動するこ	めに役立つ人間になりたいと思って	る。	が、できない時	ある(できる時	(できない)。
	とができる。)	いる。 22		もある。	もある)。	

# 2024年度 愛知みずほ短期大学 生活学科 養護教諭コース カリキュラムマップ

#### 建学の精神

保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成

#### 1. 教養・倫理観

- ① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。)
- ② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)

#### 2. 問題解決総合力

- ③ 科学的思考力を多元的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多元的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。)
- ④ コミュニケーションカを身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)

#### ディプロマポリシー(DP)

#### 3. 専門基礎力

- ⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
- ⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をとおして深く理解し、説明することができる。)

#### 4. 実践応用力

- ⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動する事ができる。)
- ⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)

	1. 教養・倫理観		2. 問題解決総合力		3. 専門基礎力		4. 実践応用力	
	知性を備えた心豊な女性を目指すための教養と倫理観		健全な社会を維持するために、種々の問題を解決でき		向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍する		専門分野をとおして、社会に貢献しようとする意識お	
	を身につけている。		る力を身につけている。			自らの能力を発揮するための _	よび力を身につけている。	
D P					知識・技術等を身につけてい	<b>\る</b> 。		
	1	2	3	4	5	6	7	8
	科学的思考力	自律性	科学的思考力	コミュニケーション	専門的知識・技術	専門的知識・技術	専門的知識・技術	社会的貢献性
			の活用	カ	の理解	の強化・発展	の活用	
	物事に対し、情緒に流さ	心身の健康の保持増進に	必要な知識や技術を活用	多様性・協働性を重ん	子どもの心身の健康・安		学外実習において、習得	
甘田	れることなく、冷静に考え					識・技術を、演習・実習等		を身につけ、社会的な課題
子待	ることができる。		に関する課題に対し、原因 を科学的に分析し、社会資	確に表現・発信するととも			て、子どもの心身の健康や 安全意識を育てるための支	となっている子どもの健康 問題を主軸とした社会への
習さ			源を活用する等、多元的な			役割の視点から、必要な専		寄与を意識して行動するこ
成 れ 果 _			視点から最善策を導き出す			門力を説明すること		とができる。
* る			ことができる。			ができる。		
	暮らしのなかの憲法	市民社会論	●食品衛生学	英語コミュニケーション	小児保健	学校救急看護Ⅱ	養護実践演習(保健組織活動)	〇教職実践演習(養護教諭)
2023年	健康・スポーツ科学	保育学	元気な子どもを育てる食事	調理実習Ⅱ		情報活用演習	養護実践演習(保健室経営)	●みずほゼミIV
入学生		スポーツ	(食物アレルギーを含む。)			(データ処理・解析)		〇養護実習(事後指導)
(2年) 後期		●人間関係論	比較食物学					
157			社会福祉論					
	暮らしのなかの心理学		食育概論	〇教育方法	●精神保健	情報活用演習(表計算)	養護実践演習(保健管理)	〇養護実習
2023年	食文化論		栄養学(食品学を含む。)	調理実習 I		Webデザイン演習	養護実践演習(保健教育)	フードコーディネート論
(2/5)	食生活論					<b>●みずほゼミⅢ</b>		現代社会のマネジメント
前期	基礎造形							
	●生活文化論							
	=	●生活経営論	カリナノニノブデザノン	<b>社</b> 本中世	<b>生进机</b> 型	<b>推护江田</b> 沖羽		际产量期
	データサイエンス 情報社会論	● 生活経営調 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	クリエイティブデザイン 薬理概論	社会実践 〇教育相談の理論と実践		情報活用演習  -   (プレゼンテーション)		臨床実習
	1月·秋仁·本語	女仕子 	条 性	●みずほゼミⅡ	健康相談活動の 理論及び方法	(プレビンテーション)     発達心理学		
2024年		大いて陸原	ファンジナーション 	<b>₩</b> 912CZII		売達心程子      養護教諭開発演習		
入学生 (1年)			〇教育課程論		一 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
後期			0 投資 赤柱 端		1770 KIE			
	●みずほ教養演習	養護教諭基礎演習	●身近な統計学	日本語表現	学校救急看護 I			
	●情報リテラシー	●みずほゼミ I	ESD入門	O道徳、総合的な学習の時間	看護概論			
	身近な科学		<ul><li>●衛生学及び公衆衛生学</li></ul>	及び特別活動の理論	学校保健			
	文書デザイン		(予防医学を含む。)	人間と社会	(学校安全を含む。)			
入学生	O教育心理学		解剖・生理学					
(1年) 前期	○教師論		〇特別支援教育概論					
1	〇教育原理		〇生徒指導の理論と実践					
			ļ.	l .	<u> </u>	l .		

●卒業必修

○教職科目

# 2024年度 愛知みずほ短期大学 生活学科 オフィス総合コース カリキュラムマップ

#### 建学の精神

保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成

#### 1. 教養・倫理観

- ① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。)
- ② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)

#### 2. 問題解決総合ナ

- ③ 科学的思考力を多元的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多元的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。)
- ④ コミュニケーション力を身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)

#### ディプロマポリシー(DP)

#### 3. 専門基礎力

- ⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
- ⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をとおして深く理解し、説明することができる。)

#### 4. 実践応用力

- ⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動する事ができる。)
- ⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)

	1. 教養・倫理観		2. 問題解決総合力		3. 専門基礎力		4.実践応用力	
	知性を備えた心豊な女性を目指すための教養と倫理観		健全な社会を維持するために、種々の問題を解決でき		向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍する		専門分野をとおして、社会に貢献しようとする意識お	
	を身につけている。		る力を身につけている。			自らの能力を発揮するための	よび力を身につけている。	
D P					知識・技術等を身につけてい	າາ		
	1	2	3	4	5	6	7	8
	科学的思考力	自律性	科学的思考力	コミュニケーション	専門的知識・技術	専門的知識・技術	専門的知識・技術	社会的貢献性
			の活用	カ	の理解	の強化・発展	の活用	
	物事に対し、情緒に流さ	心身の健康の保持増進に	必要な知識や技術を活用	多様性・協働性を重ん	ビジネスに求められる専	講義で得られた専門知	社会実践において、習得	自らの生活の場で、社会
₩0	れることなく、冷静に考え		し、人間の命や生活に関す		門知識・技術について理解		した知識・技術を応用し	的な課題となっている健康
脚 学 一	ることができる。	け、自分の行動に責任を持			し、自ら設定した目標に関	実習をとおしてさらに深く	て、臨機応変に行動するこ	問題を主軸とした社会への
習って		ち、自らの設定した目標を 達成するために積極的に取	的に分析し、社会資源を活用する等、多元的な視点か		し基礎となる力について説	実践し、ビジネスに求めら	とができる。	寄与を意識して行動するこ とができる。
成れ		定成するために積極的に取り組むことができる。	おりる寺、多元的な祝点がら最善策を導き出すことが	付割をこることができる。	明することができる。	れる専門的な技能としてプレゼンテーションできる。		こができる。
果る		7/HOCC3 (CES)	できる。					
	暮らしのなかの憲法	●人間関係論	● 食品衛生学	英語コミュニケーション	小児保健	情報活用演習		●みずほゼミIV
	健康・スポーツ科学	市民社会論	元気な子どもを育てる食事	調理実習Ⅱ		- (データ整理・解析)		マーケティング実践
2023年 入学生	基礎造形	スポーツ	- (食物アレルギーを含む。)					
(2年)		保育学						
後期			比較食物学					
			DTAIL M.					
	暮らしのなかの心理学		食育概論	調理実習Ⅰ	●精神保健	情報活用演習(表計算)		フードコーディネート論
	食生活論		栄養学(食品学を含む。)		ビジネス実務演習	Webデザイン演習		現代社会のマネジメント
2023年 入学生	食文化論		調理学		マーケティング基礎論	<ul><li>みずほゼミⅢ</li></ul>		
(2年)	●生活文化論				  薄記会計Ⅱ			
前期								
	データサイエンス	●生活経営論	薬理概論	<b>●みずほゼミⅡ</b>	秘書実務 I	情報活用演習	社会実践	
	情報社会論	笑いと健康	ファシリテーション		秘書実務Ⅱ	(プレゼンテーション)		
		女性学	クリエイティブデザイン		簿記会計 I			
2024年					小児保健			
(1年)								
後期								
	●みずほ教養演習	仕事と人生	●身近な統計学	日本語表現	看護概論			
	●情報リテラシー	●みずほゼミ I	ESD入門	人間と社会	秘書総論			
	身近な科学	-			学校救急看護 I			
2024年	文書デザイン		<ul><li>●衛生学及び公衆衛生学</li><li>(予防医学を含む。)</li></ul>		メディア実践			
入学生 (1年)	A 6 7 9 1 7				<b>グノコノ 大阪</b>			
前期			社会人基礎論					
			解剖・生理学					
								●卒業必修科目

## 2024年度 愛知みずほ短期大学 生活学科 食物栄養専攻

## カリキュラムマップ

#### 建学の精神

保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成

#### 1. 教養・倫理観

- ① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。)
- ② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)

#### 2. 問題解決総合力

- ③ 科学的思考力を多元的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多元的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。)
- ④ コミュニケーションカを身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)

#### ディプロマポリシー(DP) 3. 専門基礎力

- ⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
- ⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をとおして深く理解し、説明することができる。)

#### 4. 実践応用力

- ⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動する事ができる。)
- ⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)

	1. 教養・倫理観		2. 問題網	<b>解決総合力</b>	3. 専門基礎力		4.実践応用力	
D P	知性を備えた心豊な女性を目指すための教養と倫理観を身につけている。		る力を身につけている。		向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍する ための専門分野において、自らの能力を発揮するための 知識・技術等を身につけている。		専門分野をとおして、社会に貢献しようとする意識お よび力を身につけている。	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	科学的思考力	自律性	科学的思考力	コミュニケーション	専門的知識・技術	専門的知識・技術	専門的知識・技術	社会的貢献性
			の活用	カ	の理解	の強化・発展	の活用	
	物事に対し、情緒に流さ	心身の健康の保持増進に	必要な知識や技術を活用	多様性・協働性を重ん	栄養士として必要な専門	講義等で得られた専門知	学外実習において、習得	個々人に応じた健康の保
期	れることなく、冷静に考え			じ、自分の思いや考えを的		識・技術を、演習・実習・		持増進の理解と応用できる
学符			活に関する課題に対し、原				て、集団や個人の栄養に関	
習っ						理解し、栄養士として、必		
成れ			資源を活用する等、多元的 な視点から最善策を導き出		<b>することかできる。</b>	要な専門刀を説明することができる。	機応変に行動することがで きる。	ことかできる。
果る				きる。		n.cea.	<b>ෙ</b> නං	
	健康・スポーツ科学	市民社会論	食品官能評価・鑑別論(統計処	●人間関係論	公衆栄養学	栄養指導論実習	○教職実践演習(栄養教諭)	フードスペシャリスト論
2023年	暮らしの中の憲法		畑を合か)	英語コミュニケーション	運動生理学	食品学実験		社会実践
入学生		保育学				調理実習Ⅱ		●みずほゼミIV
(2年)						●食品加工学実習		
後期								
	暮らしの中の心理学		食料経済	〇教育方法	●公衆衛生学	給食管理実習[学内]	給食管理実習[校外]	社会福祉論
2023年					●食品衛生学	食品衛生学実験	〇栄養教育実習(事前・	食物アレルギー(対応食を含む)
入学生					●臨床栄養学各論	栄養学各論実習	事後指導を含む。)	フードコーディネート論
(2年)						臨床栄養学実習		現代社会のマネジメント
前期						栄養指導論実習		
						<b>●みずほゼミⅢ</b>		
	データサイエンス	笑いと健康	●食品学各論	〇教育相談の理論と実践	●臨床栄養学総論	調理実習 I		実践栄養指導演習
			(食品加工学を含む。)	●みずほゼミⅡ	●栄養学各論	解剖・生理学実験		
2024年			〇教育行政		●栄養指導論	生化学実験		
(1年)			〇教育課程論		●解剖・生理学			
後期			〇学校栄養教育概論		給食実務論			
			薬理概論		栄養生理学			
	●みずほ教養演習	●生活経営論	●身近な統計学	日本語表現	●調理学	調理実習 I		
	●情報リテラシー	●みずほゼミ I	ESD入門	O道徳、総合的な学習の	栄養学総論			
2024年	●生化学		クリエイティブデザイン	時間及び特別活動の理論	食品学総論			
	身近な科学		〇特別支援教育概論	人間と社会	給食計画論			
(1年) 前期	〇教育原理		〇生徒指導の理論と実践					
印州	O教育心理学							
	〇教師論							

●卒業必修

○教職科目

## 2024年度 愛知みずほ短期大学 現代幼児教育学科

## カリキュラムマップ

#### 建学の精神

ディプロマポリシー(DP)

保健衛生の学びを基に科学的思考のできる女性の育成

#### 1. 教養・倫理観

- ① 科学的思考力を身につける。(物事に対し、情緒に流されることなく、冷静に考えることができる。)
- ② 自律性を身につける。(自分の行動に責任を持ち、自らの設定した目標を達成するために積極的に取り組むことができる。)

#### 2. 問題解決総合力

- ③ 科学的思考力を多元的に活用できる力を身につける。(課題に対し、原因を科学的に分析し、多元的な視点から情報を収集し、最善策を打ち立てる事ができる。)
- ④ コミュニケーションカを身につける。(多様性・協働性を重んじ、相手を尊重し、行動することができる。)

#### 3. 専門基礎力

- ⑤ 専門的知識・技術の理解をする。(専門知識・技術を基礎から理解することができる。)
- ⑥ 強化・発展させた専門的知識・技術をもつ。(専門知識・技術を演習・実習・実験をとおして深く理解し、説明することができる。)

#### 4. 実践応用力

- ⑦ 社会状況に応じ、専門的知識・技術を活用する力を身につける。(専門知識・技術を学外実習等で臨機応変に行動する事ができる。)
- ⑧ 社会的貢献を自覚し、行動できる力を身につける。(自らの生活の場で社会への寄与を意識して行動することができる。)

	1. 教養・倫理観 知性を備えた心豊な女性を目指すための教養と倫理観		2. 問題解決総合力 健全な社会を維持するために、種々の問題を解決でき		3. 専門基礎力 向学心の持てる学びの分野及び職業人として活躍する		4. 実践応用力 専門分野をとおして、社会に貢献しようとする意識お	
	を身につけている。				ための専門分野において、自らの能力を発揮するための 知識・技術等を身につけている。		) よび力を身につけている。	
D								
Р	1	2	3	4	5	6	7	8
	科学的思考力	自律性	科学的思考力	コミュニケーション	専門的知識・技術	専門的知識・技術	専門的知識・技術	社会的貢献性
	113 23/0/323		の活用	カ	の理解	の強化・発展	の活用	
	物事に対し、情緒に流さ	心身の健康の保持増進に	1 12 27 22	多様性・協働性を重ん	保育・幼児教育について			保育・幼児教育の専門性
	れることなく、冷静に考え		し、子どもの心身の健康保					を活かし、社会的な課題と
期 学 <sub>结</sub>	ることができる。	け、自分の行動に責任を持	持や生活に関する課題に対	確に表現・発信するととも	として、子どもの視点に	実習等をとおしてさらに深	て、子どもを取り巻くさま	なっている子どもの諸問題
图 27		ち、自らの設定した目標を	し、原因を科学的に分析	に、チームワークを大切に	立った環境構成を構築し、	く理解し、保育士及び幼稚	ざまな課題に対して、適切	を主軸とした社会への寄与
成なれ		達成するために積極的に取				園教諭として、必要な専門	に対応することができる。	を意識して行動することが
ー		り組むことができる。		ケーションをとることがで	説明することができる。	カを説明することができ _		できる。
			策を導き出すことができ	きる。		る。		
			る。					
					子ども家庭支援論	比較幼児教育論	保育実習Ⅱ	子育て支援
2023年						社会的養護Ⅱ	保育実習指導Ⅱ	●みずほゼミ <b>I</b> V
入学生						子ども家庭支援の心理学		保育・教職実践演習
(2年)						子どもの健康と安全		(幼稚園)
後期						創造活動Ⅱ		
						児童文化		
			子どもの食と栄養		保育の計画と評価	<ul><li>幼児理解の理論と教育相談</li></ul>	教育実習	現代社会のマネジメント
2022/5					教育方法	保育内容指導法(環境)	保育実習 I (施設)	
2023年					    創造活動 I	保育内容指導法(健康)	保育実習指導 I (施設)	
(2年)					●特別支援教育・保育	<ul><li>みずほゼミⅢ</li></ul>		
前期								
	健康・スポーツ科学	笑いと健康	<ul><li>身近な統計学</li></ul>	● みずほゼミ II	     社会的養護 I	音楽	保育実習 I (保育所)	
	データサイエンス	市民社会論	●子どもの保健		子ども家庭福祉	保育内容指導法(言葉)	保育実習指導 I (保育所)	
	7 7 7 1 1 2 7	TO IT A III	●保育の心理学		環境	保育内容指導法(表現 I )	WHY 1 (WH///)	
2024年								
入学生 (1年)			●幼児教育課程論		子どもの理解と援助	保育内容指導法(表現Ⅱ)		
後期			クリエイティブデザイン		●健康	保育内容指導法(人間関係)		
			子どもの遊びと健康Ⅱ			乳児保育Ⅱ		
			子どもの質問に答える理科					
	●みずほ教養演習	●みずほゼミ I	社会福祉	英語コミニュケーション	●保育内容総論	音楽		
	●情報リテラシー	保育実践	ESD入門	日本語表現	言葉			
	身近な科学	スポーツ		人間と社会	表現			
2024年	●保育原理	子どもの遊びと健康 I			人間関係			
	●教育基礎論				乳児保育 I			
	現代教職論							
前期	教育心理学							
	暮らしのなかの憲法							
	暮らしのなかの心理学							
								▲ 卒業必修

●卒業必修

表紙絵:鈴木安由美

学校法人 瀬木学園 **愛知みずほ短期大学** 〒 467-0867 名古屋市瑞穂区春敲町 2-13 T. 052-882-1815・1816 F. 052-882-5700 https://www.aichi-mizuho.jp/